DK VOICE 2

第40期第2四半期 VOL.2

株主通信 2012年4月1日 2012年9月30日

ダイコク電機株式会社

証券コード　6430

01 ご挨拶

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで当第2四半期は、厳しい事業環境の中で、当初の予想を上回る業績を収めることができました。ここにその取り組み及び成果をご報告申し上げます。

株主の皆さまには、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2012年12月

代表取締役社長　栢森 秀行

経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により緩やかに持ち直しつつありましたが、欧州や中国における不透明な経済情勢を背景とした世界景気のさらなる下振れにより、先行き不透明な状況となっております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、顧客であるパチンコホールでは、パチスロ遊技機は引き続き好調に推移しています。パチンコ遊技機では、当連結会計年度より日本遊技機工業組合の新内規に対応してゲーム性の幅が広がった遊技機が投入されました。なお、警察庁生活安全局保安課より7月に「広告・宣伝等の適正化の徹底について」の通達が発出され、従来からの広告、営業等について見直される動きが広がっております。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、ホールコンピュータ「CⅡ」との連動による機能面等が強化された新製品CRユニット「VEGASIA」や、ファン向け情報公開機器等の販売を推進しました。制御システム事業におきましては、「顧客への貢献」に向けた企画開発活動や環境対応をテーマとした研究開発への取組みを強化いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高276億65百万円（前年同期比1.5％減）、営業利益36億３百万円（同70.1％増）、経常利益37億25百万円（同80.2％増）、四半期純利益21億62百万円（同100.9％増）となりました。

財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現預金の減少及び減価償却による固定資産の減少がありましたが、前第4四半期連結会計期間に比べ当第2四半期連結会計期間において売上が好調に推移したことにより売上債権が増加したこと、当第3四半期以降販売予定の在庫が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ34億2百万円増加の524億90百万円となりました。

負債は、有利子負債の圧縮に伴う借入金の減少はありましたが、仕入債務及び未払法人税等の増加により、前連結会計年度末に比べ17億83百万円増加の237億56百万円となりました。

純資産は、営業成績が好調に推移したことによる利益剰余金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ16億19百万円増加の287億33百万円となり、自己資本比率は54.7％（前連結会計年度末比0.4ポイント下落）となりました。

通期の業績の見通し

2012年11月2日に業績予想を修正いたしました。

この結果、連結売上高560億円（前期比18.9%増）、連結営業利益50億円（同41.8%増）、連結経常利益50億円（同41.2%増）、連結当期純利益27億円（同62.3%増）を見込んでおります。

●2013年3月期 通期連結業績予想数値の修正　（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	55,000	4,000	4,000	2,300
今回修正予想（B）	**56,000**	**5,000**	**5,000**	**2,700**
増減額（B-A）	1,000	1,000	1,000	400
増減率（%）	1.8	25.0	25.0	17.4

本冊子に記載されている市場予測や業績見通しは、当社の経営陣が現在有効な情報に基づき判断したもので、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。したがいまして、諸要因の変化により実際の業績は記載事項と大きく異なる結果となる可能性があることをあらかじめご承知おきください。

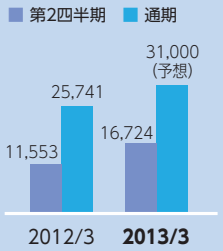
セグメント別の状況

当第2四半期の営業概況

対処すべき課題と通期の見通し

情報システム事業

売上高 16,724百万円　営業利益 4,030百万円

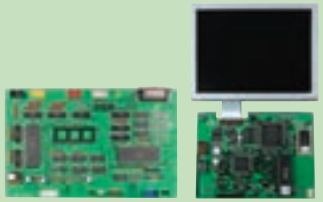


MIRAIGATEネットワークを活用したホール支援サービス「CⅡスタンダード」の一層の充実と拡大を強化しました。また、4月に発売したCRユニット「VEGASIA」は、ホール店舗システムとの一体化による機能性の向上が高く評価され、台毎データ表示機「BiGMO」及び呼出ランプ「IL-X」の販売も好調に推移しました。この結果、当事業の売上高は167億24百万円（前年同期比44.8%増）、セグメント利益は40億30百万円（同128.2%増）となりました。

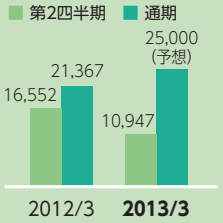
売上高 31,000百万円　営業利益 5,900百万円

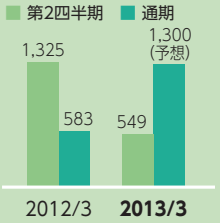
「ネットワーク」をコンセプトとして、MIRAIGATEシステムとネットワークサービスの強化をはかり、シェアビジネスの確立を目指します。売上高310億円（前期比20.4%増）、営業利益59億円（同23.0%増）を計画しております。

制御システム事業



売上高 10,947百万円　営業利益 549百万円





グループ企業との業務範囲・役割の再構築を行い、ソフト、ハードの企画提案に努めました。この結果、当事業の売上高は109億47百万円（前年同期比33.9%減）、セグメント利益は5億49百万円（同58.6%減）となりました。

売上高 25,000百万円　営業利益 1,300百万円

顧客への貢献を念頭に、顧客ニーズの掘り起こし、意思決定のスピードを向上、企画開発の強化をはかり、顧客にとっての最適化を追求します。売上高250億円（前期比17.0%増）、営業利益13億円（同122.6%増）を計画しております。

※当期より、報告セグメントの区分を変更しております。前期の実績につきましては、新区分に組み替えた数値で表示しております。

03 財務データ

第２四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円、単位未満は切捨て）

科　目	当第2四半期 2012年4月 1日から 2012年9月30日まで	前第２四半期 2011年4月 1日から 2011年9月30日まで	前期 2011年4月 1日から 2012年3月31日まで
売上高	**27,665**	**28,100**	**47,096**
売上原価	**18,557**	**18,988**	**31,143**
売上総利益	**9,108**	**9,112**	**15,953**
延払販売未実現利益戻入	9	0	9
延払販売未実現利益控除	24	－	－
差引売上総利益	**9,093**	**9,113**	**15,962**
販売費及び一般管理費	**5,490**	**6,995**	**12,437**
営業利益	**3,603**	**2,118**	**3,525**
営業外収益	**165**	**100**	**229**
営業外費用	**43**	**151**	**212**
経常利益	**3,725**	**2,067**	**3,541**
特別利益	**44**	**1**	**11**
特別損失	**120**	**81**	**235**
税金等調整前四半期（当期）純利益	**3,649**	**1,987**	**3,317**
法人税、住民税及び事業税	1,684	1,040	1,455
法人税等調整額	△200	△141	177
少数株主損益調整前四半期（当期）純利益	**2,166**	**1,088**	**1,683**
少数株主利益	3	11	20
四半期（当期）純利益	**2,162**	**1,076**	**1,663**

販売費及び一般管理費

前年同期と比べて15億4百万円減少いたしました。その主な要因は、昨年から引き続き経費削減に努めてきたことにより、業務委託費及び研究開発費が減少、また、固定資産の取得が減少したことに伴う減価償却費の減少などによるものです。
以上により売上高営業利益率は前年同期比5.5ポイント増加の13.0％となりました。

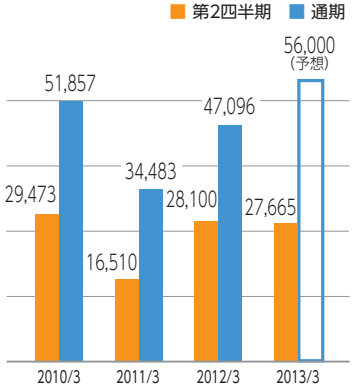
特別利益

当第2四半期連結累計期間において、企業再編に取組んだことによる関係会社株式売却益を計上しております。

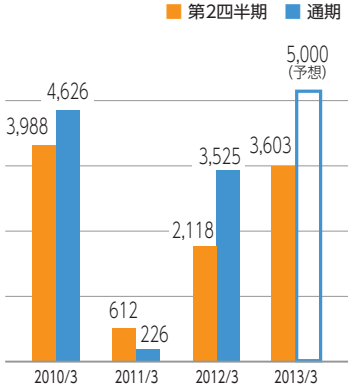
特別損失

今後の利用計画のない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額したことに伴い、減損損失を計上しております。

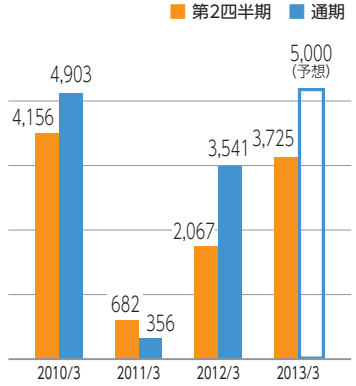
売上高



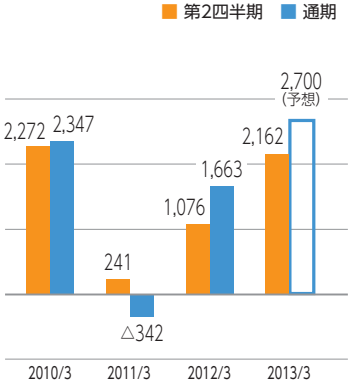
営業利益



経常利益



四半期（当期）純利益又は純損失（△）

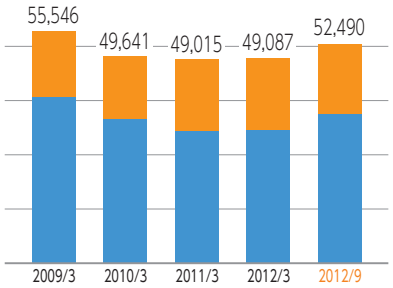


（単位：百万円、単位未満は切捨て）

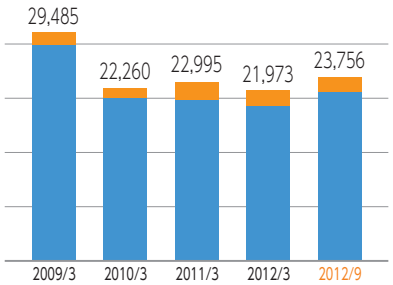
第２四半期連結貸借対照表（要旨）

科　目	当第2四半期末 2012年9月30日現在	前第２四半期末 2011年9月30日現在	前期末 2012年3月31日現在
資産の部			
流動資産	35,750	32,963	31,916
固定資産	16,740	18,075	17,170
有形固定資産	9,640	10,407	9,989
無形固定資産	1,615	1,732	1,810
投資その他の資産	5,484	5,935	5,370
資産合計	52,490	51,039	49,087
負債の部			
流動負債	21,827	22,234	19,906
固定負債	1,929	2,139	2,067
負債合計	23,756	24,374	21,973
純資産の部			
株主資本	28,729	26,582	27,021
資本金	674	674	674
資本剰余金	680	680	680
利益剰余金	27,376	25,229	25,667
自己株式	△0	△0	△0
その他の包括利益累計額	3	4	4
少数株主持分	ー	78	87
純資産合計	28,733	26,665	27,113
負債純資産合計	52,490	51,039	49,087

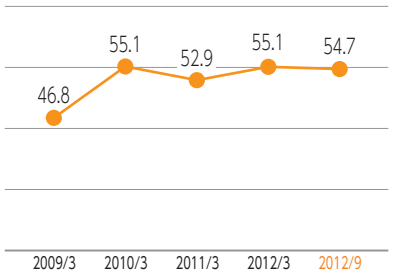
流動資産/固定資産



流動負債/固定負債



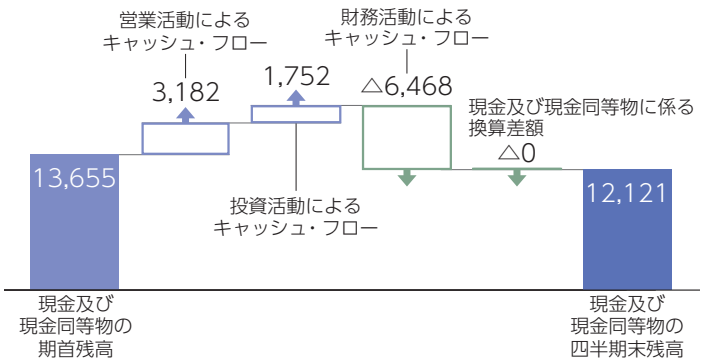
自己資本比率 (%)



第２四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

科　目	当第2四半期 2012年4月 1日から 2012年9月30日まで	前第２四半期 2011年4月 1日から 2011年9月30日まで	前期 2011年4月 1日から 2012年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	3,182	3,322	5,682
投資活動による キャッシュ・フロー	1,752	△7,052	△4,607
財務活動による キャッシュ・フロー	△6,468	△245	△493
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△2	△2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,533	△3,977	578
現金及び現金同等物の期首残高	13,655	13,080	13,080
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	12,121	9,102	13,655

第２四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要



05 トピックス

新製品の発表、展示会やセミナーの開催など ダイコク電機の「今」をお伝えします。

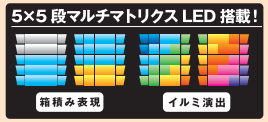
NOW 玉箱ランプ「DECOREO」

台毎計数機がパチンコのみならず、パチスロも普及し始め、その導入にあたってパチンコホールの課題として必ず出るのが「どうやって持ち玉を分かりやすく表現し、玉積み時の盛況感を補うか」です。そんな課題を解決すべく、当社は玉箱ランプ「DECOREO（デコレオ）」を2012年7月にリリースいたしました。

セールスポイント！

●玉箱表示部分に5×5の マルチマトリクスLEDを搭載！

玉箱数表示とは別に、状態に応じた多彩なイルミネーションで島内をデコレーション！



●持ち玉表示部分に 業界最大級「7セグ」を搭載！

大きな持ち玉表示はもちろん、多彩なイルミネーションで島内をデコレーション！

なお、当社製の呼出ランプとの接続により、イルミネーションが変わるのも特長の一つ。ぜひとも一度導入店舗にご来店いただき、凝りに凝ったイルミネーションをご体感下さい。

NOW 新データロボ「VR-77」

パチンコファンの欲しい情報をリアルタイムに提供し続けてきた「データロボ」。今までのよいところはそのままに11年振りにリニューアルいたしました。

情報公開機能の進化のみならず、ファンとコミュニケーションできる多くの機能を備えております。2012年5月に開催した展示会ではデータ表示のみに留まらない新データロボに多くのお客さまから好評をいただいております。

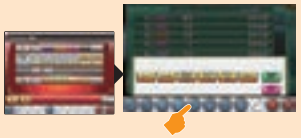
セールスポイント！

●台探しの煩わしさを解消 「打ちたい台探し機能」

ファンが打ちたい台の条件を入力することで、該当台をリストアップ！店舗の中を歩き回る手間を省きます。

●ブックマーク機能を搭載 「マイメニュー機能」

いつも使う機能に一発ジャンプできる機能です。ファンがデータロボを使いこむほど、新データロボの便利さを実感できる機能です。



NOW 「DK-SIS白書2011」発刊

「DK-SIS白書2011」

このたび当社は「DK-SIS白書2011」を発刊いたしました。本書は創刊の「DK-SIS白書2003」から数えて9刊目であり、市場シェアの約25%にあたる112万台分もの膨大なホールの営業データを日々集計・分析し、1年分の情報を集約したものです。

本書では、東日本大震災による発生直後における直接的、及び復旧過程での輪番店休等の間接的な業績への影響を筆頭に、様々な角度から業界全体の変化について取り上げております。

市場の大きな動きとしては、ここ数年の業績低迷により4円パチンコの台数シェアがパチスロも含めた遊技機総台数に対し、DK-SIS統計上初めて50%を下回った点や、その影響として総粗利規模が過去最低を更新するなど、依然として厳しい状況にある事等を解説しております。

反面、好材料としましては、パチスロの業績が5号機への完全移行後では最高の業績となり、今後も期待したいポイントである事を取り上げ、収益の軸をパチスロにシフトする企業が増加する中で、中長期的にファンからの期待に応える重要性を伝え、粗利面でパチスロへの極度な依存に注意すべきと提言しております。

今後も、市場の変化に対応し続けるためのツールとして、DK-SISならびに本書がホール経営企業の皆さまの一助となることを願っております。

NOW 「名証IRエキスポ2012」に出展

「名証IRエキスポ2012」

2012年7月20日（金）・21日（土）の両日、名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）にて行われた名古屋証券取引所主催の「名証IRエキスポ2012」にブース出展いたしました。今回で連続9回目の出展となるこのイベントは今年も盛況で、2日間で約6,500名もの来場者がありました。

当社ブースでは対面形式と説明会形式を行い、個人投資家の方々に当社の説明をさせていただきました。今年も約300名の皆さまに当社についての説明を聞いていただき、株主や個人投資家の皆さまとのコミュニケーションの場として大変有意義な出展となりました。当日は貴重なご意見、ご協力ありがとうございました。

今後も継続的なIR活動により、当社の知名度・認知度の向上に努力してまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

会社概要

商　　号	ダイコク電機株式会社 DAIKOKU DENKI CO., LTD.
創　　業	1964年12月
設　　立	1973年 7月
資 本 金	6億7千4百万円 (発行済株式総数14,783,900株)
本　　社	名古屋市中村区那古野一丁目43番5号
従業員数	(単独)452名　(連結)604名
事業内容	パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売 パチンコ遊技機用ユニット・パチスロ遊技機の開発・製造・販売
決 算 期	3月31日
事 業 所	4事業所、4支店、12営業所
関係会社	DAXEL株式会社、元気株式会社

役員

代表取締役会長	栢森　雅勝
代表取締役社長	栢森　秀行
代表取締役専務	栢森　健
専務取締役	岩根　節雄
常務取締役	橋本　忠巳
取締役	齊藤　直
取締役	丹羽　時重
取締役	室町　雅紀
取締役	根本　弘
取締役	吉川　幸治
取締役	佐藤　信悟
取締役	栢森　啓
取締役	國保　德丸
取締役	足立　芳寛
常勤監査役	伊東　幹夫
監査役	村橋　泰志
監査役	田島　和憲

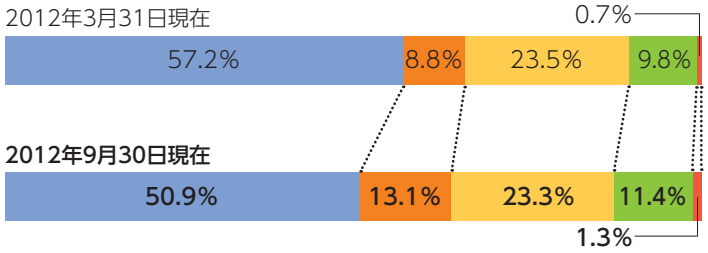
(注) 1.取締役 國保德丸氏、足立芳寛氏は社外取締役であります。
2.監査役 村橋泰志氏、田島和憲氏は社外監査役であります。

株式の状況

発行可能株式総数	66,747,000 株
発行済株式総数	14,783,900 株
株主数	3,251 名

所有者別株式分布状況

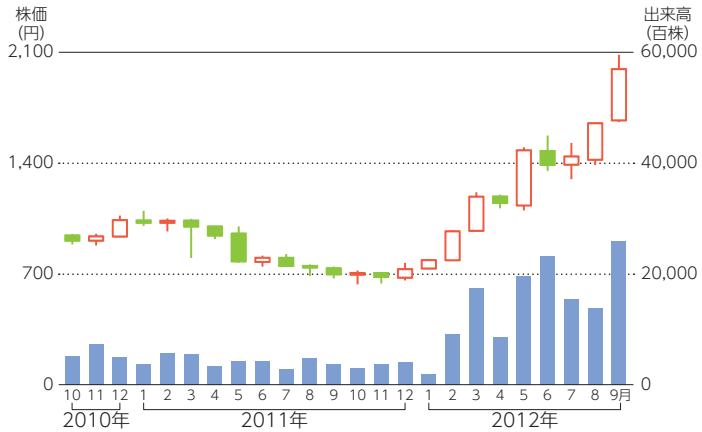
	2012年9月30日現在		2012年3月31日現在	
	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)
個人・その他	7,516,873	3,039	8,458,561	4,130
金融機関	1,941,600	26	1,298,300	26
その他国内法人	3,448,500	61	3,478,600	67
外国人	1,689,111	101	1,442,499	78
証券会社	187,428	23	105,606	29
自己名義株式	388	1	334	1
合　計	14,783,900	3,251	14,783,900	4,331



大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
栢森　健	1,772,200	11.98
栢森　雅勝	1,587,550	10.73
栢森　寿恵	1,108,950	7.50
栢森　美智子	926,000	6.26
公益財団法人栢森情報科学振興財団	750,000	5.07
栢森　秀行	739,100	4.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	634,500	4.29
栢森　新治	437,150	2.95
栢森　啓	420,000	2.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	367,500	2.48

株価及び出来高の推移

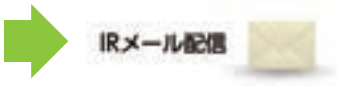


■ 電子メールによる当社IR情報の配信

当社は、投資家の皆さまへ電子メールによるIR情報配信サービスを提供しております。ご登録いただいた皆さまには当社ホームページ(http://www.daikoku.co.jp)に新しい情報が掲載されたことをお知らせします。
IR情報配信サービスをご希望の方は、当社ホームページにアクセスした後、「IRメール配信」ボタンから、簡単にご登録いただけます(無料)。

www.daikoku.co.jp/ir

ダイコク電機　IR　検索



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	6月下旬
基準日	定時株主総会　3月31日 期末配当　3月31日 中間配当　9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
一単元の株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
郵便物送付先 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 TEL.0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告によります。ただし、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告のホームページアドレス	http://www.daikoku.co.jp

配当金受取方法等について

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。
＊確定申告をなされる株主さまは、大切に保管ください。

株主さまのご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施にともない、株主さまのご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部又は一部をほふりが指定した文字又はカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主さまにご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主さまのご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

株券電子化後の配当金受取方法のお取扱い

株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主さまの保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問い合わせください。

ダイコク電機株式会社
〒450-8640　名古屋市中村区那古野一丁目43番5号
TEL(052)581-7111(代表)
ホームページ　http://www.daikoku.co.jp

VEGETABLE OIL INK
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。